

8 公害苦情

平成20年度に受付した公害苦情件数は172件となり、前年度の187件に比べ15件減少しました。

公害の種類別の内訳は、大気汚染26件(15.1%)、水質汚濁45件(26.2%)、騒音・振動39件(22.7%)、悪臭47件(27.3%)、その他15件(8.7%)となっており、大気汚染と悪臭に別れて受け付けていますが、野外焼却に関する苦情が44件(25.6%)あり依然として大きな割合を占めています。また、種類別の割合では、前年度と比べ大気汚染が減少、水質汚濁がやや増加しましたが、ほかはおおきな変化が見られませんでした。件数の対前年度比では、大気汚染68%、水質汚濁118%、騒音・振動93%、悪臭102%、その他65%となっています。

地域的には、市街化調整区域、その他の区域の苦情件数が19件減少したことと比べ、住居地域、工業地域、商業地域の苦情件数は、ほぼ横ばいの件数となっています。また、発生源別件数としては、近年増加していたサービス業の苦情が半減しましたが、製造業などの公害苦情が増加しており、両者の感情的なもつれなどから解決が困難なものもあります。

図8-1-1 公害苦情件数の推移

